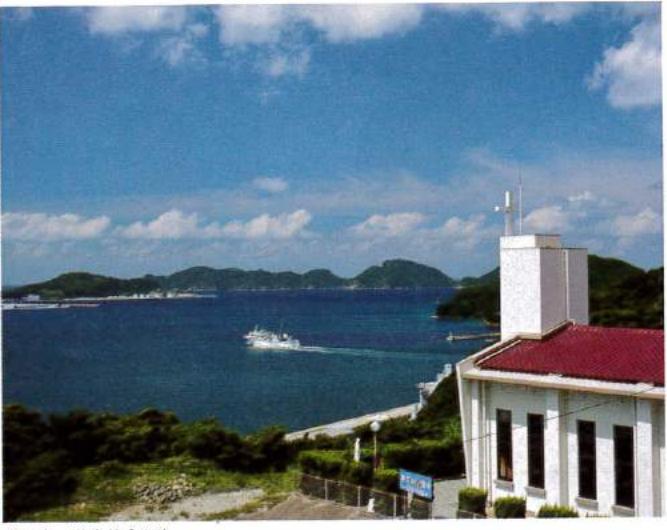




久賀島：牢屋の Baptism 教会と敷地



中通島：跡次教会と海

まれた島であることから水産業が基幹産業となっています。また、有名な五島牛などの畜産や農業など、1次産業が生活に直結しています。現在は水産業の衰退で地域の雇用状況が悪化し、若年層が島外へ流出する傾向にあり、また島内に帰つてくる人が少ない原因となっています。

水産業における環境は非常に難しい状況に直面しています。水揚げが良くても島内人口が減少してくれば、当然魚の島内消費が下がり魚価は低迷します。一方、島外へ送ると離島ハンディとなる本土までの運賃分が価格に反映されてコスト高となり、他の地域との価格競争で負けてしまいます。特に鮮魚は鮮度が命のため、近県への輸送が多くなり、地産地消型の消費マーケットになります。しかし人口分布が都市集中型の現代においては、近県による地産地消だけでは消費が少なく、経済効果が拡大しないのが実情です。

加えて、五島列島の漁師の多くは60歳以上と高齢化を迎えています。後継者がいないのです。港に停泊している漁船の半分は廃船となっている状況です。

さらに、ここ数年の温暖化傾向にあって近海から魚が減少しており、また海が磯焼けをしてしまい藻が生

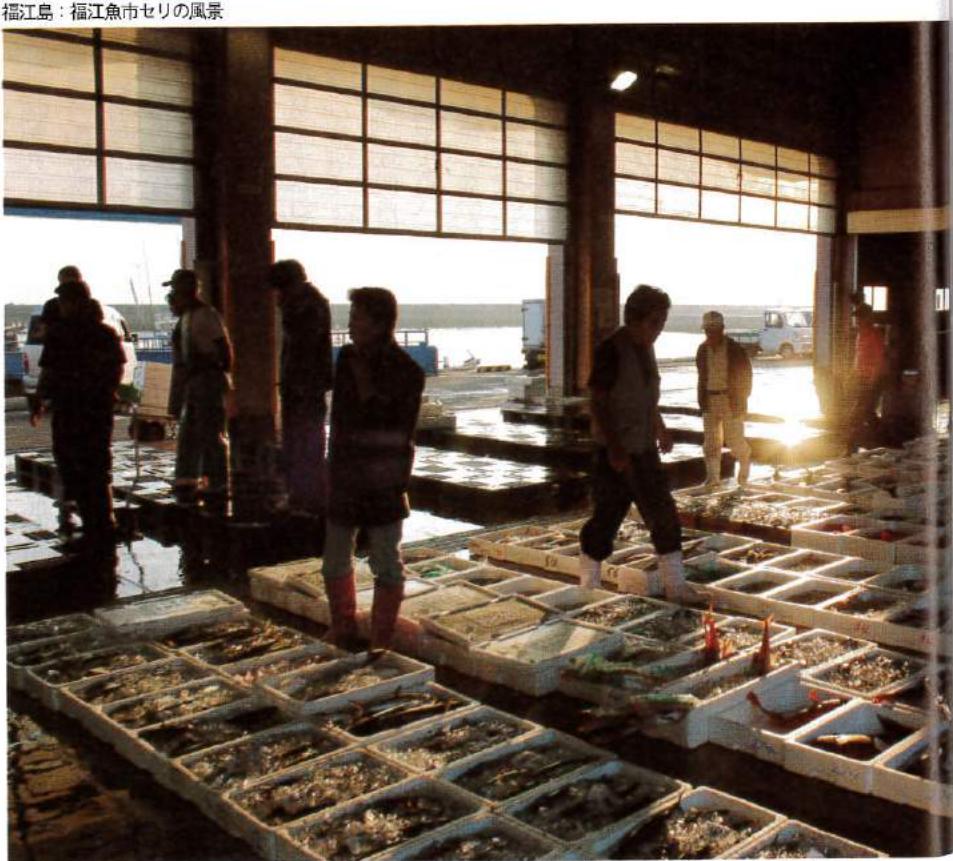
えでこない影響で魚が減少しています。海水の温度上昇により、南方でよく見られる魚が水揚げされるなど、魚種の変化もあり、自然環境面でも以前より厳しい状況となっています。

東日本大震災以降、この地域でも水揚げ魚種に変化がありました。ですが、五島列島は日本でも有数の漁業に適した自然環境を持つた地域です。厳しい状況とはいえる水産業は日本でも有数の好条件にあります。

「五島列島支援プロジェクト」が目指すもの

五島列島支援プロジェクトは、五島列島の地域振興活動を行っています。農水産物の首都圏流通や水産物のブランディング、観光誘致や観光地紹介、文化的景観保全の観点からのカトリック教会の保全などを中心に活動をしています。

その中で地域に一番必要なことは



画像：©五島列島支援プロジェクト

寄稿

1次産業と地域社会を活性化する試み

「五島列島支援プロジェクト」の展望

小島由光



株式会社ソニックス代表取締役

私が「五島列島」に着眼した理由

九州は長崎の西に位置する離島である五島列島。私が初めて五島列島に行ったのは今から約5年近く前、祖父が生まれ育った島である久賀島を訪れることが目的でした。祖母は奈留島出身です。五島列島は自然環境が豊かで、特に東シナ海に面して黒潮が入る地理的条件は、日本でも有数の漁場である水産業を中心とした食材の宝庫と呼べる島です。農業、畜産も盛んで自然の豊かな恵みを感じにはせいたくな環境です。また観光ガイドなどに掲載されていない地域でも、風景は島独特の絶景を見ることができます。

地理的条件によつて昔から海外貿易の玄関口となつていた五島列島は歴史を振り返つても知的好奇心が騒ぐ魅力的な所です。

地理的条件によつて昔から海外貿易の玄関口となつていた五島列島は歴史を振り返つても知的好奇心が騒ぐ魅力的な所です。

五島列島の1次産業特に水産業の状況

前述したとおり五島列島は1次産業が主な産業であり、中でも海に因

るため島に戻つてこられないのが現状です。また、世界遺産暫定登録リストに入つてゐる教会群など、五島列島で受け継がれてきた歴史そのものが、人口減少による過疎化と高齢化によって継承するのが困難な状況にありました。

私にとって五島列島は先祖が生まれ育つた地です。多くの苦難を乗り越えて開拓してきたこの地にある素晴らしい環境と歴史を風化させないためにも、五島列島の地域活性化を目的として「五島列島支援プロジェクト」を立ち上げました。

1次産業と結び付きを深めることだ。その第一線に立つた活動には、現地の自治体、生産者との交渉を重ね、物流を構築するための志が重要となる。これら一連の活動を五島列島で行つている小島由光氏より、活動の全体像と展望について論述していた

だいた。

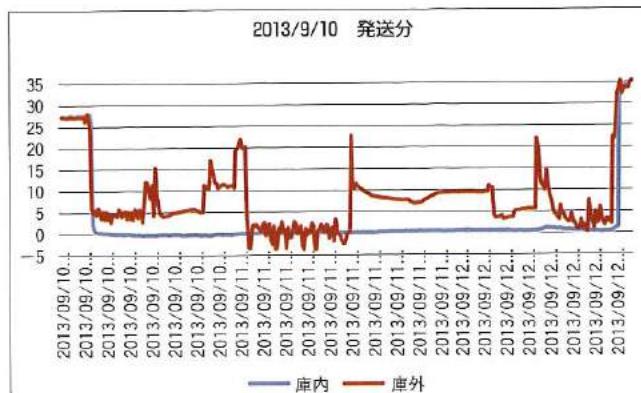
「産直」への取り組みは、産地の1次産業と結び付きを深めることだ。

その第一線に立つた活動には、現地の自治体、生産者との交渉を重ね、物流を構築するための志が重要となる。これら一連の活動を五島列島で行つている小島由光氏より、活動の全体像と展望について論述していた

だいた。

そんな魅力的な五島列島も深刻な状況に直面しています。人口減少による過疎化と高齢化により、地域が年々疲弊していることです。全国的に多くの地方で、過疎化と高齢化に罹る若者が少なく、過疎化と高齢化が同時に進んでいます。仕事が少ないため島に戻つてこられないのが現状です。また、世界遺産暫定登録リストに入つてゐる教会群など、五島列島で受け継がれてきた歴史そのものが、人口減少による過疎化と高齢化によって継承するのが困難な状況にありました。

私にとって五島列島は先祖が生まれ育つた地です。多くの苦難を乗り越えて開拓してきたこの地にある素晴らしい環境と歴史を風化させないためにも、五島列島の地域活性化を目的として「五島列島支援プロジェクト」を立ち上げました。



と生産者支援につながります。

この取り組みは「五島列島水産流通」として首都圏を中心に飲食店へ直送しています（＊注①）。

これらの取り組みは、3次産業のマーケティング側の目線から1次産業、2次産業を含めて連携し、活性化する6次産業化の取り組みとして当社で一番重要視しているところで

す。消費者のニーズにつながる販路拡大や、加工品の規格、ブランディングなどの仕組みづくりによって、まだまだ生産者側が活性化する可能性は高いと考えています。

この取り組みは全国数千社の取り組みの中から「FOOD ACTION NIPPON 2011 製造・流通・システム部門」優秀賞、「FOOD ACTION NIPPON 2010 製造・流通・システム部門」入賞を受賞しております。

「重要文化的景観」地域で生業支援を行う

五島列島には国の重要文化的景観

こじま よしみつ（株）スパーソニック代表取締役、地域活性化・特産品ブランディング・飲食店コンサルタント。2000年8月創業。3次産業（流通・外食）マーケティング、コンサルティング指導をはじめ、地域活性化指導、地域振興活動を中心に1次産業（生産者）活性化と2次産業（製造加工業者）の商品ブランディングを行う。執筆、企業向け講演など多数。「銀燈台」店の経営相談、盛和塾塾生。

当日水揚げされた鮮魚を漁協の目利きにお任せして直送する
「鮮魚詰め合わせセット」（1万円分）



2011年FOOD ACTION NIPPON製造・流通・システム部門で優秀賞を受賞



農家の生業支援のため新上五島町の芋を買い上げ、生産した本格芋焼酎「越南枝」

新上五島町北魚目では、北魚目地区の生業である芋の生産増を目指した取り組みで、この地区で取れた芋の原料を買い取り、本格芋焼酎として製造。流通販売を行うことにより芋の生業支援を行っています。

3次産業側の目線から本格芋焼酎の中でも差別化できるように、減圧蒸留での本格芋焼酎を生産、ターゲットを女性にも向けてフルーティな味わいに仕上げ、商品ブランディングを行い、焼酎の販売増を目指して城活性化を目指しています。売上げの一部は本プロジェクトを通じて世界遺産候補になっている文化財指定の五島列島の教会群の保全に寄付しています。

五島市久賀島では、島にある藪椿の原生林と棚田の原風景を維持、

に指定された地域が2カ所あります。「新上五島町北魚目」と「五島市久賀島」です。

文化的景観の定義とは「地域における人々の生活又は生業及び当該地の風土により形成された景観地で我が国民の生活又は生業の理解のために欠くことのできないもの」（文化財保護法第二条第1項第五号より）となっており、その中で特に価値の高いものを重要文化的景観といいます。

新上五島町北魚目では、北魚目地区の生業である芋の生産増を目指した取り組みで、この地区で取れた芋の原料を買い取り、本格芋焼酎として製造。流通販売を行うことにより芋の生業支援を行っています。

3次産業側の目線から本格芋焼酎の中でも差別化できるように、減圧蒸留での本格芋焼酎を生産、ターゲットを女性にも向けてフルーティな味わいに仕上げ、商品ブランディングを行い、焼酎の販売増を目指して城活性化を目指しています。売上げの一部は本プロジェクトを通じて世界遺産候補になっている文化財指定の五島列島の教会群の保全に寄付しています。

多くの地域で同様に高齢化、過疎化によって衰退している地域があると思いますが、どの地域も課題は共通しています。本プロジェクトを通じて全国各地で多くの地域活性化に役立つ取り組みとなればと考えています。

五島列島支援プロジェクトでは首都圏をはじめとして農水産物を流通するために3次産業側の目線で規格、戦略を持ってマーケティングの視点から1次産業、2次産業をブランディング開発しています。

多くの地域で同様に高齢化、過疎化によって衰退している地域があると思いますが、どの地域も課題は共通しています。本プロジェクトを通じて全国各地で多くの地域活性化に役立つ取り組みとなればと考えています。

*注① <http://www.supersonic-web.com/gotofish/>